

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ハマドニ行政郡トゥルディエフ地区サヨード村第50番学校校舎建設計画供与式報告

平成29年11月8日、「ハマドニ行政郡トゥルディエフ地区サヨード村第50番学校校舎建設計画」の供与式がハマドニ行政郡で行われました。供与式にはハマドニ副行政郡長をはじめ、多くの学校関係者、児童・生徒及び保護者を含む大勢の地域住民が参席しました。

本計画対象のサヨード村第50番学校は村唯一の基礎教育機関で、村内一円から1～11年生304名が通っています。校舎は建設から44年が経過していたため老朽化が顕著で、建物の壁には大きなひび割れが複数見られ、教室の天井部分には崩落の可能性がある箇所もありました。また、教室数の不足により、本来午前・午後の2交代制の授業を3交代にせざるを得ず、生徒の教育を受ける権利の妨げとなっていました。

今般、本計画実施により、サヨード村の児童・生徒たちは安全な環境で十分な教育を受けることができるようになりました。供与式では同学校に通う児童・生徒より、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



テープカットの様子。



供与式に参加した児童・生徒や地域住民らによって踊りが披露されました。



新しい校舎で学習する生徒たち。



校舎外観。